

令和5年度

第1回草津市地域福祉推進市民委員会 会議録

■日時：

令和6年3月19日（火）13時30分～14時40分

■場所：

市役所4階行政委員会室

■出席委員：

清水委員、粟津委員、坂下委員、窪田委員、田淵委員、山中委員、柴田委員、
岡田委員、水谷委員

■欠席委員：

小田巻委員、佐野委員、大西委員、田村委員、三反田委員、新木委員

■事務局：

【健康福祉部】永池部長、安藤総括副部長、江南副部長

【健康福祉政策課】岸本課長、吉川課長補佐、棚橋主査

【人とくらしのサポートセンター】田中所長、安土主査、黒川主査

【子ども家庭・若者課】徳地課長

【草津市社会福祉協議会】馬場グループ長

■傍聴者：

なし

1. 開会

【永池健康福祉部長】

<開会の挨拶>

【事務局】

<傍聴者の報告>

<委員紹介>

<会議成立の報告>

2. 議事

(1) 第4期草津市地域福祉計画に係る令和4年度の主な取組の評価および令和5年度の主な取組状況について

【事務局】

資料1をもとに説明。

【委員長】

ただ今の説明に対し、確認や質問等があれば挙手いただきたい。

【委員】

6PのNo.44の実績評価について、相談件数実績が296件であり、またNo.46の相談件数実績が698件であったが、相談の内容を1例か2例教えていただきたい。

【事務局】

相談内容が多岐にわたっており、窓口がわからないという相談者が多いが、例えば、困窮されて来られる方や引きこもりの方の御家族が相談に来られるケースもあった。

また、生活困窮者自立支援制度という事業があり、離職されて家賃が払えない方やハローワークに行っているが就職先が見つけれない就職困難者の就労支援を行ったりもしている。

【委員】

会館でも就労相談や障害者の見守り、独居老人の訪宅等きめ細かく相談内容を分類しているが、今回の実績数のうち、特に多かった重点相談の内容について教えていただきたい。

【事務局】

複合的な相談が多い印象であるが、特に「病気に関すること」「お金に関すること」「職に関すること」の3つの相談が多くなっている。

【委員】

相談後の解決状況について教えていただきたい。

【事務局】

すぐに解決する方は少なく、解決するまでに時間がかかる方がどちらかといえば多い。就職先を探すまでに色々な相談をさせていただくこともあれば、困窮の解決をするまでに家計の収支の相談をさせていただくこともある。長く関わる方がどちらかといえば多いが、もちろん解決される方もおられる状況である。

【委員長】

困りごとの相談内容についてであったが、困窮者の就職に対する相談が多いということだった。相談実績についても、こういった相談内容が多いかわかるものを作っていたらと思う。その他、地域ごとに取組されていることもあると思うので、工夫していろいろな形でやっていけば、各地域でも積極的に取り組んでいただけたらと思う。

【委員】

4 P1-3「市民とボランティア活動をつなぐための取組」について、コーディネーターの配置であったり、ボランティアの受け入れをしたと記載されており、実績値も示されているが、年代的にはどれくらいの方がコーディネーターになられているのか、あるいは、ボランティアに参加されているのか教えていただきたい。

また、ボランティアに参加された後、引き続きボランティア活動に参加されている方がどれくらいいるのかも教えていただきたい。

【委員長】

ボランティアに参加されている方の年代や継続状況に関する質問であったが、社会福祉協議会より回答いただきたい。

【事務局】

資料にあるように実績人数としては5,776人であり、この方々は御自身で参加したいボランティア団体に所属され、活動いただいている人数となっている。うち個人の人数というのは、例えば、施設でボランティアしたい方が個人で直接お話に行かれて登録している方の人数となっている。年齢としては70代が一番多い状況となっている。

市社会福祉協議会にはボランティアセンターが設置されており、職員がボランティアコーディネーターとして、ボランティアしたい人とボランティアしてほしい人を繋ぐ受給調整を行っている。また、福祉教養大学では、何かしたいけど、どうしたら良いかわからない方であったり、地域福祉活動やボランティアをやりたい方を対象として5つの講座を開催している。そこで、いろいろな講師からボランティア活動の大切さであったり、地域福祉活動の大切さを学んでいただき、実際に地域福祉活動やボランティア活動への参加につなげていただくという取組を行っている。その他にも、幅広い年代の方々にボランティア体験をしていただきたいという思いから、キラリエ祭では、キラリエ草津周辺に多くおられる子育て世帯の方向けに点字体験など様々な体験を催し、ボランティア意識を高めていただく取組をしている。

【委員】

私はレイカディアの現役であるが、5月に説明会があると聞いている。

【事務局】

コロナ禍は中止になっていたが、レイカディア大学では地域福祉活動体験学習講座を受けることができる。そこで市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターが人数や年齢の状況を把握させていただいている。

【委員】

これまでも学習講座を開催していたか。

【事務局】

開催していた。

【委員】

例えば、この学習講座に100名の方が参加し、100名のうち90名の方がボランティアに参加されたとすると、その90名がその後どうなったか、状況を把握していただき教えていただきたい。

【事務局】

レイカディア大学では、令和4年度に27件のボランティア調整をさせていただいた。レイカディア大学では1人2回はボランティア体験をしなければならないというルールがあるようなので、市社会福祉協議会が作成したボランティアグループリストから興味のあるところを選んでいただき、受給調整を行っている。その後、実際にレイカディア大学の方がボランティアグループの一員として活動しているのかまでは把握できていない。把握しているものとしては、市社会福祉協議会では高齢者や障害者を福祉車両にて送迎いただく送迎ボランティアを募集しているが、担い手が増えない状況にあるため、レイカディア大学の受給調整のなかで、送迎ボランティアの協力をお願いしたところ、現在1名の方が体験学習講座を受けた後、送迎ボランティアとして御活躍いただいている。

【委員長】

レイカディア大学のなかに送迎ボランティアはないが、ボランティア活動として送迎ボランティアに協力いただいている方が1名おられるということであった。また、ルールにより、市社会福祉協議会に来ていただき、体験学習講座を受けていただくのが基本であるが、その後の管理については市社会福祉協議会ではタッチしておらず、本人の意思次第とのことであった。また平均年齢も70代が一番多いということで、年齢的にも高くなっている状況であるが、キラリエ祭には中学生から高校生、大学生など、多くの若い方にも来ていただいている状況となっている。また、ボランティアグループもいろいろな団体があり、草津市ボランティア連絡協議会に加入されて活動いただいているのが現状となっている。

【委員】

レイカディア大学の卒業生について、自分の学区でも地域サロンとして腹話術を行うなど、積極的に協力いただいている。ただ、それをみんなが知っているかどうか、誰がそういった活動をされているかがわかりづらいのではないかと。

【事務局】

市社会福祉協議会では、ボランティアグループ地域サロン活動リストを毎年作成しており、分野ごとにグループの活動日、活動場所、活動内容を紹介させていただいている。また地域サロンについては、各学区にいくつあるかも案内している。こちらのリストは、市社会福祉協議会のホームページで公開したり、各学区社会福祉協議会や各学区民生委員児童委員協議会に配布している。

【委員長】

市社会福祉協議会のホームページでも公開されているので、関係団体の皆様は御活用いただけたらと思う。また、ボランティアグループもたくさん掲載されているので、御協力いただいたり、必要に応じて依頼いただくなど御活用いただきたい。

これで議題1を終了させていただく。

(2) 重層的支援体制整備事業の取組状況について

【事務局】

資料2をもとに説明。

【委員長】

ただ今の説明に対し、確認や質問等があれば挙手いただきたい。

【委員】

今の時代、障害者、高齢者が増えており、課題が非常に多くなってきている。しかし、その課題に対応する人材が足りていないと感じている。例えば、民生委員児童委員は定員割れしており、地域によっては民生委員ひとりにかかる負担が非常に大きくなっている。町会長についても、1年交代の地域が多くなってきており、地域のことを十分に理解するまでに辞めてしまう状況である。私の地元では、市社会福祉協議会が中心となり、民生委員児童委員や町内会、各種団体、地域住民が一堂に集まり、お互いが横の繋がりや連携を強化していこうという話し合いを行った。全体で50人程集まったが、民生委員の活動状況、課題、悩み等の本音を初めて聞くことができた。また、民生委員が地域にお願いすることにはできるだけ協力してほしいという話もあった。他にも町会長からは、地域住民全体のことを把握するのは不可能であるとの話もあった。これからは、縦割りではなく、横のつながりを大切にして、組織づくりをしていく方が前に進んでいくのではないかと考えている。ひとつひとつの団体が独立して仕事をしていくのは無理な時代になってきたので、横のつながりをどうやってつくっていくかを考えるのが一番大事だと思う。

【委員長】

代表してお話いただいたが、学区でも縦割りではなく、横の繋がりを深めていくことが重要になってくると思う。今までは地域においても縦割りがあり、いろいろな機関がそれぞれの考えのもと動いていただいていたが、重層的支援体制整備事業では横のつながりをつくった中で、支援に取り組んでいくことが目的となっているので、市役所の2階にある人とくらしのサポートセンターが資料に記載されているような総合的な相談事に対応している内容について説明いただいた。制度の内容についてもよく理解できたと思う。これで議題2を終了させていただく。

3. その他

【事務局】

委員の皆様から貴重な御意見をいただいた。特に、今年度から開始した重層的支援体制整備事業について、貴重な御意見をいただき感謝している。

現在の委員の皆様については、令和6年9月末までの任期となっていることから、来年度に一斉改選を予定している。改めて、各団体に選任のお願いをさせていただく。

令和6年度、令和7年度の委員会については、2カ年をかけて次期地域福祉計画の策定について議論をいただきたいと考えている。御継続いただける委員の皆様については、引き続き御協力いただきたい。

4. 閉会

以上